



2面・3面 巡回公演だより／「みんな伝承フェスティバル『宮城』開催／園からのお便り／いいだ人形劇フェスタ2014 ほか
4面 制作だより／事務局だより／新人紹介 ほか

http://www.suginoko.org/

E-mail: support@suginoko.org

皆様に支えられて50年！

理事長 小澤 幸雄

すぎのこ創立50周年を迎えて

去る8月1日、すぎのこは創立50周年を迎えることができました。そして翌2日、ささやかなすぎのこ50周年感謝の会を開催しました。これまですぎのこを支えてくださったすべての方々に、心からの感謝と御礼を申し上げます。

スポーツ界は今年、六年後に控えた二度目の東京オリンピックに向けて始動しましたが、すぎのこは今から50年前、最初の東京オリンピックの年に誕生しました。

昭和39年、長兄が主宰する「劇団やまいも」により、NHKテレビ実験放送時代からカラーテレビ



実験放送時代までの八年間続いた連続テレビ人形劇「チロリン村とくるみの木」の放送終了をきつかけに、テレビでは決して味わえないナマの舞台の感動を、どんな離島山間僻地の子ども達にも届けよう！との思いから「杉の子」を旗揚げしました。

爾来50年。メイン事業である幼稚園・保育園での全国巡回公演の実績は、北は北海道から南は沖縄まで、これまでの公演回数は、七万九千五百余回、観客動員数は、七百八十七万六千余名。一年間の平均公演回数は千五百九十余回、年間平均観客動員数は十五万七千五百余人を数えます。

この間の歴史の中で、私にとって最も大きな出来事は、創立者であり兄でもある小澤明が、創立20周年を目前にして46歳の若さで帰らぬ人となった事でした。

た。以後愚弟の私が後を継ぎ、曲がりなりにも30年間続けてきました。彼が生きていれば！もつと違った、もつと優れた創造集団が創れたものを！と、常に考えさせられてきました。

でも、すぎのこを取り巻くスツッフ始め関係者の方々は、みな優れた素晴らしい方達ばかりで、それらの方々に支えられ、救われながら今日に至っております。

舞台が良かった時も悪かった時も。舞台以外の接し方が良かった時も悪かった時も。常に叱咤激励しつつ、観劇し続けてくれた施設の方々。

経済優先の社会環境の中で、いつも隅に追いやられる文化や芸術。その中でも人形劇や幼児のための芸術文化は隅のまた隅。その中で活動をいつもボランティア的精神で支えてくれている外部スタッフの方々。

厳しい環境での全国巡回公演活動を、蔭に日向に支えてくれる賛助会員や篤志家の方々。活動の意義を理解し認め、補助や助成や協賛くださっている

企業や各種団体のの方々。夢を抱き仲間に加わり、夢破れ去って行った多くの仲間達。何よりも、過酷な環境の中で、共に汗と涙を流しながら今もなお続けている仲間達。

50年の歴史はこれらすべての方々の熱く尊い贈り物と考え、心からの感謝と御礼の言葉を捧げます。

50周年記念事業開催

本年、東日本大震災復興「夢と希望と笑顔の輪を！」祈念事業第3回「みんな伝承フェスティバル『宮城』」を仙台市に於いて開催します。これは二年にわたって続けてきた震災復興祈念事業の集大成として、またすぎのこの創立50周年を記念した事業として実施するものです。

11月2日(日)、3日(祝)の二日間。「仙台市市民活動サポートセンター」を借り切り、全国の民話伝承活動家が「民話」をキーワードに一堂に会して、被災地宮城の子ども達にママの舞台を届けようというものです。皆様の参加をお待ち致しております。

巡回公演だより

そっくりのくりのき班

榎本 均

「コンちゃん！」「くりの木のおじいさん！」

子ギツネの女の子とくりの木の おじいさんは、いつもこう呼び合っています。

でも、嵐に倒れたくりの木のおじいさんの最後の呼びかけは、空の上からです。

「コンちゃん、ありがとう、もう泣かなくてもいいよ。さあ見てください」

まわりには、おじいさんそっくりのくりの木の子ども達の笑顔、笑顔、笑顔。



時々、去年の今頃お亡くなりになった原作者のやなせたかしさんの声かと、ふっと思ったりもします。生前、私は二度ほどお目にかかれましたが、あのニコニコしていたお顔が思い浮かべれます。

今年8月、すぎのこはおかげさまで創立50周年を迎えました。



その「すぎのこ50年の歩み」の記念誌に、もう40年近く前の75年に、やなせたかしさん原作の人形劇が記してあります。それは「手のひらを太陽に」という作品です。長年、お亡くなりになるまで、子ども達のために御尽力なされていたこと改めて思います。

時代がどう移り行くとともに、子ども達の笑顔を信じ、そして励みにし、また一歩前に歩いてまいります。

「そっくりのくりのき」をつくられたやなせたかしさんの思いを胸に、まだまだ未熟ですが、「コンちゃん、ありがどう、もう泣かなくてもいいよ」と。そう、子ども達の笑顔を道標として頑張ります。

たのきゅうのうわばみだいじ
後藤 佳世

おともに、関東を中心に公演しているたのきゅう班です。たのきゅうと私とを重ねてみると、全く違う人生で、性格や性別も真逆。私にとってはもともと考えさせられる作品です。

内容は、子どもの反応によって書き加えたり削ったりしてまとまってきており、見に来た子ども達は満足して帰っていきま



す。厳しい大人の目でも十分に満足する作品です。今年で最後となる作品ですが、フルパワーで頑張りたいと思います。

ねずみの嫁入り

下村 あきつ

ねずみの嫁入り班は、今回九州地方を10月中旬から巡回公演します。

これは、日本昔話の中でも皆さんよく知っているお話だと思います。団扇太鼓を使い、テンポよく話が進んでいきます。登場する太陽・雲・風・壁がとても個性的ですので、楽しみしてくださいます。

また、同時上演する「ずいってん」は、小坊主ずいてんといたずらキツネとのとんち比べのお話で、こちらも楽しい作品です。今回は、楽しく、お腹いっぱい笑える作品をお届けします。ご期待ください！

わらしべ長者

菅谷 香純

この夏で、新しいメンバーになり、配役も変わり、新鮮な気持ちで二学期がスタートしました。同じ劇でも、役が変わると



視点も変わり、なかなか面白いです。自分が今まで演じてきたキャラクターも、他の人が演じると別のキャラクターになったようで、不思議な感覚になると同時に勉強にもなります。

子ども達の反応もまた変わったりします。私はこの「わらしべ長者」をいろいろな人と巡回公演を行ってきましたが、同じお話なのに演じる人が違うところも反応が違うのかと驚かされます。

子ども達が喜んで観てくれるような劇にしたい、といつも考えながら稽古に励んでいます。

とべー！ドードー

石山 和佳

「とべー！ドードー」は、ケンタという男の子がドードーという鳥と出会い、冒険をするお話です。テーマは地球環境とケンタの成長。南の島や南極に行き、地球の現状を目の当たりにしたケンタは、ひと回り成長して帰ってきます。

ぜひ、ケンタになったつもりで、ドードーと冒険を楽しんでください。また、南の島や南極の舞台背景も見所の一つです。

このお話を観て、子ども達が地球や生き物について、考えるきっかけになったらいいと思います。

園からの お便り

NEWSLOG

■長浜保育所(愛媛県大洲市)

子ども達を魅了するよい題材だったと思います。笑い声が絶えず、子ども達も楽しく参加できました。

子ども、職員とも、とても感動しました。

■しらとり保育園(大分県大分市)

内容もとてもよかったですし、音響・照明もすばらしかったです。そして何よりも二人の劇団の方の演技力は、子ども達、職員もびっくりするほどでした。

短い時間でしたが、とてもすばらしい劇をありがとうございました。来年も機会があれば、ぜひ見たいと思います。

■溝部保育所(大分県中津市)

毎年、とても楽しい時間を過ごさせてもらっています。劇の途中でも子ども達に声をかけたりにして下さるので、いつも最後まで子ども達が夢



佐賀県唐津市昭和幼稚園より

中になって見えています。

今回の心あたたまるお話に心の中があつくなり、涙が出てきました。小さい子ども達にも、「感動」というものにもふさわしい思いを伝えてくださったことに、心よりお礼申し上げます。おばあちゃん達も、とても喜んでくれました。

たのきゅうのうわばみだいじ

■あそびの森すみよし保育園(新潟県新発田市)

劇団のみなさんごなたも、とても丁寧で(案内の電話をくださった方達も含め)、安心してお願いできます。今回は見て泣く子どもも少なく、笑い声がたくさん聞きました。感謝の気持ちでいっぱいです。

■浜岡中央児童館(静岡県御前崎市)

大笑いしたり、返事をしたりと、子ども達はのりに乗って見えました。二人の息の合った演技で楽しかったです。

とべー！ドードー

■日の丸保育園(北海道札幌市)

人形や舞台の場面変化、音楽など、どれもとてもきれいでした。

演じ方に引きつけられ、楽しい場面では笑ったり、歌を歌ったり、楽しむことができました。また、クライマックスのシーンでは、悲しさに泣いてしまった子もいましたが、再びドードーの登場で子ども達は大喜びでした。感動をありがとうございました。

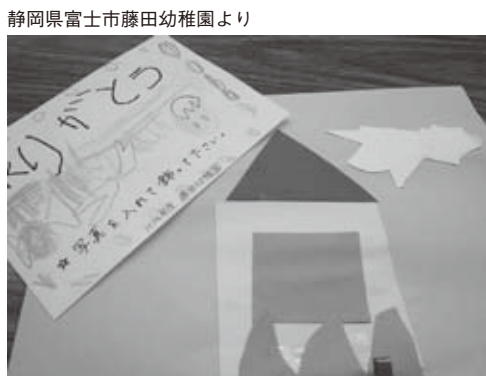
■小佐々保育所(長崎県佐世保市) 0歳児から年長児まで、話に引き込まれ、身をのりだして見ている姿に、「ナマの人形劇を見せてあげてよかったです」と感激しました。

未満児の中には、演じる方の低い声に少々恐がつて泣いたりする姿も見られましたが、それも体験の一つとして、大切な時間だったと思います。

わらしべ長者

■あかね保育園(石川県白山市)

初めての訪問劇で、「わらしべ長者」というのは、(3歳児には)ちよつとむずかしかな? と思いつつながら見せ



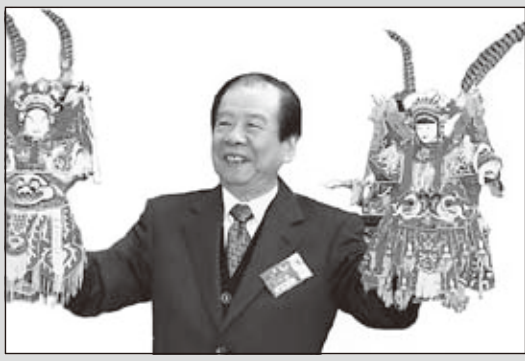
静岡県富士市藤田幼稚園より

今秋「みんなわ伝承フェスティバル、宮城」開催

「みんなわ伝承フェスティバル、宮城」の開催が近づいてまいりました。

現在、文化部は着々と準備を進めています。台湾からは、国宝級の人形遣いで台湾伝統芸術師、鍾任壁先生がいらつしやいます。また日本全国、そして地元宮城県からも、たくさんの方が出演する予定です。

今回のフェスティバルは、



台湾伝統芸術師、鍾任壁氏

東日本大震災復興「夢と希望と笑顔の輪を！」祈念事業第3回/すぎのこ創立50周年記念事業「みんなわ伝承フェスティバル、宮城」

日程/平成26年11月2日(日) 10時~16時 平成26年11月3日(祭日) 10時~15時

会場/サポセン(仙台市市民



NPO法人創る村/出演作品「野々島の大ダコ」

活動サポートセンター) 入場料/無料 (フェスティバルの詳細は随時、すぎのこホームページにアップします) <http://www.suginoko.org> 主催/公益財団法人すぎのこ芸術文化振興会 共助/NPO法人創る村・台湾新興閣掌中劇団



すぎのこ/出演作品「わらしべ長者」

後援/宮城県・宮城県教育委員会・仙台市・仙台市教育委員会・日本ウニマ(国際人形劇連盟日本センター)・日本民話の会・台北駐日経済文化代表處 協賛/株小学館・(公財)石橋財団 協力/株丸和仙台オフィス

民話、伝説をキーワードにしています。人形劇、影絵劇、語りべ、朗読、一人芝居、腹話術、紙芝居等々、出演作品の形態は様々です。まだ参加者を募集しておりますので、ご興味がおありの方がいらつしやいましたら、お問い合わせください。もちろん、すぎのこの俳優陣達も出演します。フェスティバル当日は、皆様お誘い合わせの上、ぜひ遊びにいらしてください。被災地の子ども達に笑顔を届けるのはもちろん、私達もこのフェスティバルを通して、たくさん笑顔になりたいと思っています。

「夢と希望と笑顔の輪を！」そんな同じ思いを持ったみんなの心が一つになるような、あたたかくて楽しいフェスティバルを目指します。 (文化部 浅野茜子)

いいだ人形劇フェスタ 2014

今年に引き続き、長野県飯田市の「いいだ人形劇フェスタ」に「たのきゅうのうわばみみたい」の公演で呼んでいただきました。今回、子ども達の劇団「人形劇クラブつばさ」とのジョイント公演ということで、立派な体育館のある丸山小学校にお邪魔しました。

昨年引続き、長野県飯田市の「いいだ人形劇フェスタ」に「たのきゅうのうわばみみたい」の公演で呼んでいただきました。今回、子ども達の劇団「人形劇クラブつばさ」とのジョイント公演ということで、立派な体育館のある丸山小学校にお邪魔しました。

達から年長児まで、幅広く楽しめたものだったと思います。これまで小さな子ども達は、途中で退席したりした年もありましたが、今回は最後まで見ていられました。歌の場面でも、手拍子をしたり楽しんでいました。次作を楽しみにしています。

「夢と希望と笑顔の輪を！」そんな同じ思いを持ったみんなの心が一つになるような、あたたかくて楽しいフェスティバルを目指します。

「夢と希望と笑顔の輪を！」そんな同じ思いを持ったみんなの心が一つになるような、あたたかくて楽しいフェスティバルを目指します。

50周年を迎えたすぎのこですが、今後もお声がかかれば全国各地でもお声がほしいです。ぜひ、よろしくお願ひいたします! (白石高章)

すぎのこは エデュテインメント

みんなのすぎのこ③

ラジオで、イギリスの方が話していました。彼は、日本で、幼児に英語を教えている。対象が幼児なので、歌を歌ったり、お芝居にしてみたり、自分の仕事は、エデュテイナーだと話していました。エデュテイナー? 聞かない言葉なので、辞書を調べました。エデュケーション(教育)とエンタテインメント(芸能)の造語だと記載してありました。Education+Entertainment=Edutainment。なるほど、考えると確かに、幼児対象の仕事はまさに、エデュテインメントです。幼稚園・保育園の先生には、すぐに分かっていたはず。毎日がエデュテインメントですね。ひるがえって考えますと、「すぎのこ」の仕事も、まさに、エデュテインメントです。情操教育を、高い水準の芸術として分かり易く楽しくお届けする。私たちは、エデュテイナーであり、また、そうあらねば、ならないはず。もちろん、私たちは、巡回公演のほかにも劇場公演、また実験的な人形劇も創作しますが、それらの成果はすべて、巡回公演に、フィードバックしてきました。ある行動から「言葉」が生まれるのでしょうか今回は「言葉」から、自分たちの仕事を定義づけることができました。そんな気がしました。(下西 勝彦)

制作をよ

暑い夏も過ぎ去り、今年も残すところあとわずかとなりました。すぎのこはこの夏、いいた人形劇フェスタ、「無料観劇会」、そして「すぎのこ50周年・感謝の会」と、イベントが盛りだくさんの熱い夏となりました。

今年50周年を迎えたすぎのこ。かくいひ私は、今年よりすぎの

この一員となりましたので、すぎのこをご覧ください。全国の先生方のほうが、ずっとすぎのこについてお詳しいと思われま。感謝の会では、受付を務めさせていただきましたが、全国からいらした皆様とお会いすることができ、こんなにもたくさんの方々を支えられ歩んできた50年なのだ、強く実感することになりました。

一息ついたのも束の間、11月には仙台にて行われる「みんな傳承フェスティバル」が待っています。民話には、昔ながらの日本の伝統や文化、そして思想がまつており、現代の私達へのメッセージを伝えてくれる作品に出合えます。また、そこで多くの方々とお会いすることをとても楽しみにしております。

(福島 亜紀)

賛助会員を募集しています！

賛助会は、すぎのこの理念・目的に賛同する個人や団体の方々、当財団の活動を側面から支援していただくものです。入会された方には、会員証と共に入会の証としてアンパンマンでおなじみのやなせたかし先生がデザインした、すぎのこ「すくすく」バッジ(写真)をお贈りいたします。

公益財団法人すぎのこ芸術文化振興会 定款施行細則「賛助会規程」

1. 賛助会に関する基本事項に関しては、定款第45条によるものとする。
2. 賛助会は、当法人の目的に賛同し、事業や業務を支援する個人・団体賛助会員からなりその内容は次のとおりとする。
 - (1) 賛助会費を納める「会費制賛助会員」

個人	年額	3,000円	以上
団体	年額	10,000円	以上
 - (2) 知識、技能、労力を提供する「技能制賛助会員」

個人	年間	3日間以上
団体	年間	5日間以上
3. 賛助会員になろうとする者は、申し込み用紙に必要な事項記入のうえ、会費(技能提供予定書)を添えて当法人事務局に提出し理事長の承認を受けなければならない。
4. 納入された会費は管理運営費並びに賛助会運営費に使用する。
5. 賛助会員が退会しようとする場合、所定の退会届に必要な事項記入のうえ、当法人事務局に届け出る。

6. 会費制賛助会員が一年以上会費を滞納した場合、技能制賛助会員が一年以上知識、技能、労力の提供がなかった場合は、自然退会として扱う。
7. 理事長は、賛助会員の当法人への理解や支援、賛助会員同志の意志の疎通や親睦を図るため、会員の中から若干名の世話人を選び、世話人の中から代表世話人を選任し世話人会を設置する事が出来る。
8. 世話人会が設置された場合、世話人は代表世話人の下に、前4項の目的を達成するための事業や業務を、理事長の指導のもとに企画し実施する事が出来る。
9. 賛助会員は、この法人が刊行する図書及出版物等の優先的配布、その他この法人の行う行事に関して優先的な取り扱いを受ける事が出来る。
10. 賛助会員が、会員として相応しくない行為があると認められる時は、世話人会及び理事会の、各々3分の2以上の議決により除名する事が出来る。
11. 前項の理由により除名する場合、理事長は、予め本人からの文書または口頭での意思表示を求め、理事会において最終判断をする。
12. 納入された会費及び提供された技能はいかなる理由があろうとも返還はしない。
13. この賛助会規程を改廃しようとする場合、理事会の議決を経なければならない。

事務局 だより

研修センター利用報告

「すぎのこ婦孺研修センター」は今夏、ボーイスカウト葛飾第2団、トヨタ自動車大学校、群馬大学 Fore Bridge Orchestra の皆様方に、芸術文化活動や野外活動としてご利用いただきました。更に今秋もリピーターの文化団体様からご予約を承っております。

ご利用いただいた皆様、誠にありがとうございました。

研修センターのご案内

当財団には、群馬県に日本小型自動車振興会(現財団法人JKA)の補助により建設された「すぎのこ山荘」と日本宝くじ協会の助成により整備された「わんぱく村」からなる「すぎのこ婦孺研修センター」、埼玉

県に日本宝くじ協会の助成により建設された「すぎのこ飯能研修センター」があります。いずれの施設も緑ゆたかな自然に恵まれ、大変静かな環境に立地しています。



婦孺研修センター

音楽や演劇等の芸術文化活動はもちろん、どなたでも時間を気にせず、自由にのびのびとお使いいただける施設です。合宿や研修等で会場をお探しの方は、ぜひご検討ください。(利用目的は原則自由ですが、冠婚葬祭やそれに類する事、営利目的の活動には使用できません)

婦孺村にある「すぎのこ婦孺研修センター」近くには、海拔1200m、周囲2kmに及ぶバラキ湖をはじめ、近隣に日帰り温泉施設「湖畔の湯」やバラキ高原婦孺スキー場等が点在し、年間を通じてレジャーや野外活動の拠点としてご利用いただける他、敷地内にはテントサイト(シャワー室・トイレ完備の専用洗面棟併設)や雨天でもバーベキューが楽しめる集会所、アスレチック広場等が整備され、多目的に活用できる施設となっています。

埼玉県飯能市にある「すぎのこ飯能研修センター」は、都心から電車で約一時間程度の場所でありながら閑静で落ち着いた環境に恵まれ、135㎡の多目的フロアの他、研修室、和室、男女更衣室、シャワールームを完備しており、研修や芸術文化活動に広くご利用いただける施設です。また、周辺には飯能の観光スポットとして有名な「天覧山」や「飯能河原」等も徒歩圏内にありますので、利用された折には、ぜひ散策してみたいかがでしょうか。

各施設の利用可能な期間や時間等、詳細につきましてはお問い合わせください。

皆様のご利用を心よりお待ちしております。

婦孺研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/support@suginoko.org

または03-33984-2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または042-971-4121

(創造部)

新人紹介



星野 翼

初めて人形劇というものに出会ってからは、毎日驚くことがたくさんあります。先輩の皆さんに少しでも近づけられるよう精進してまいります！子ども達にママの舞台の感動を伝えられるよう、日々努力中です！

これからよろしくお願いたします。

活動記録(平成26年7月~9月)

- 8/2 「すぎのこ50周年・感謝の会」開催 於・月島スベインクラブ
- 8/8 第一期全国巡回公演終了
- 8/9 いいた人形劇フェスタ参加 於・長野県飯田市丸山小学校
- 8/24 創造部公開ケネプロ 於・飯能研修センター
- 9/1 第二期全国巡回公演開始